

景観形成デザインガイドとの整合を示す書類

「適合」「非適合」のいずれかに☑する(項目が該当しない場合は無記入)。非適合の場合等、その理由を摘要欄を記入。

項目	景観形成デザインガイド(デザイン基準)		適合	非適合	摘要
全体	まちなみとしての一体的な景観整備を図るため、地区のシンボルであるJR米沢駅舎及び駅前広場をはじめ、住之江橋や一中などのイメージを活かした景観を創出しましょう。		☐	☐	
	本市を代表する商業地域のひとつであることを踏まえ、統一されたイメージのもと、個性的なまちなみを創出することにより、人を引きつける景観づくりをしましょう。		☐	☐	
	高さ	建物の高さは近隣建物と合わせ、周辺の景観に配慮したものとしましょう。	☐	☐	
	外壁	外壁の色は、白、うすい灰色、うすい茶色としましょう。	☐	☐	
	開口部	出入口、窓などの開口部の意匠は、建物に調和したものにしましょう。	☐	☐	
	壁面	大規模建築物の壁面は、出入口、窓などの開口部の配置等を工夫するなどし、単調な大壁面とならないようにしましょう。	☐	☐	
	屋根	屋根及び軒の形態は、近隣建物と調和するものにしましょう。	☐	☐	
		陸屋根以外の屋根とする場合は、切妻か寄棟にしましょう。また、屋根の色はこげ茶とし、勾配方向を周りの建物を合わせましょう。	☐	☐	
	装飾	旧米沢工業高等学校本館(現山形大学工学部)をイメージした三角屋根やオーナメント(装飾)を取り付けましょう。	☐	☐	
建築設備	車庫	車庫等のシャッターは、うすい灰色、うすい茶色としましょう。	☐	☐	
	エアコン等	エアコンの室外機等は、道路から見て目立たない場所に設置するか、周辺と調和したデザインの目隠し等を施しましょう。	☐	☐	
道路との境界	位置	建物の圧迫感を軽減し、ゆとりあるまちなみにするため、道路との境界から1m以上後退して建てましょう。	☐	☐	
	塀	道路との境界に塀を設置する場合は、色彩、素材、意匠を周辺景観に配慮したものとしましょう。	☐	☐	
		フェンスを設置する場合は、景観に配慮したもので色は茶系とし、道路との間には植栽を施しましょう。	☐	☐	
緑化	道路から見えるよう敷地内には樹木や草花を植え、緑化に努めましょう。特に、道路境界には、花壇や緑地帯等(コンクリート製植栽柵又はフラワーポット)を設置するように努めましょう。		☐	☐	
看板、サイン	大きさ	突出した印象のものとならないよう、最小限の大きさとしましょう。	☐	☐	
		同一場所に複数の看板を設置する場合は、大きさを揃えるなどして煩雑な印象を与えないようにしましょう	☐	☐	
	色彩	広告面に使用する基調色は、R系、YR系、Y系の色相では彩度10以下、その他の色相では彩度8以下とし、周囲と調和した落ち着いた印象のデザインとしましょう。	☐	☐	
	特殊装飾広告	ネオンサイン、イルミネーション及び電光掲示板等の広告は設置しないようにしましょう。また、広告用照明は必要最小限の明るさとして、落ち着いた印象のものとしましょう。	☐	☐	
	上り旗	市や地区として統一されたものを一定期間のみ設置し、退色、汚損した場合はすぐに取り替えるか撤去しましょう。	☐	☐	
自動販売機	自動販売機を設置する場合は、落ち着いたデザインのものとし、建物の中に組み込むか、景観に調和するよう外側を囲みましょう。		☐	☐	
駐車場	駐車場は、道路から直接自動車が見えないよう、出入口以外は生垣や板塀等で囲うようにしましょう。		☐	☐	
	駐車スペース以外の部分に緑化を施すなど平坦で無機質なイメージにならないようにしましょう。		☐	☐	